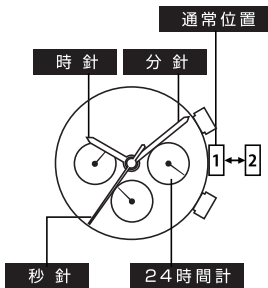


POLICE

PL.15001 SERIES INSTRUCTION MANUAL

時刻の設定について



時刻の設定

1. リュウズを2の位置まで引き出します。
2. リュウズを回して時分針を正しい時刻に合わせます。
3. リュウズを通常位置まで押し戻します。

24時間計は、時計・分針に対応して動きます。時刻設定時には、24時針が正しく設定されていることを確認してください。

防水機能について

3 ATM 日常生活での汗や洗顔のときの水滴、軽い降雨などで一時的にかかる水滴に耐えられるものですが、水道からの水を直接当てたり、水泳やダイビングなどのご使用は避けてください。
ご使用状況によっては浸水する可能性があります。

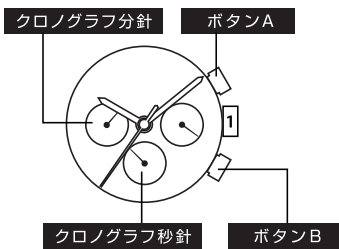
10 ATM 水仕事やスキューバーダイビング(素もぐりを含む)以外のマリンスポーツに耐える構造ですが、ご使用状況によっては浸水する可能性があります。

防水機能について

リュウズは常に通常位置に設定してください。
ねじ込み式リュウズは完全に閉めた状態で着用してください。

水中ではボタン操作、時刻合わせ、ベゼル回転させるなどの動作は行わないでください。
また時計が塩水に浸かった場合は使用後、必ず真水ですすいでください。
風呂、サウナ内での着用、及び放置は避けください。
高温と湿度(水分)が組み合わさることにより防水機能に支障が生じる場合があります。

クロノグラフの操作について



クロノグラフ操作について

クロノグラフは1秒単位で1時間まで測定できます。

1. ボタンAを押す度にスタートとストップを繰り返します。
2. ボタンBでリセットします。

注意

時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部より低い温度のときは、ガラスの内側にくもることがあります。一時的なくもりの場合は支障ありませんが、長時間くもりが消えない場合はそのまま放置をせず、ご購入店へご相談ください。

濡れた手、または水中でのリュウズ操作による浸水や防水性能を超えた水圧による浸水は、保障期間内の場合でも有償修理となります。防水性能は、あくまでも目安です。

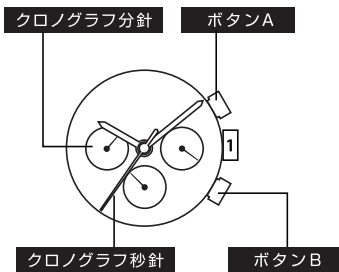
表示してある状況下であっても振動・運動によって水圧が付加され、耐用気圧を超えることがあります。このような場合は、故障・損傷の原因となりますので充分にご注意ください。
水中および時計や手に水分がついた状態でリュウズの操作を行うと、時計内部に水(湿気)が入る原因になります。

ご使用の際は、リュウズが「通常使用ポジション」にあることを必ずご確認ください。

リュウズが他のポジションにあると防水性が保たれませんのでご注意ください。

クロノグラフ機能の頻繁な使用や走行させたまま、バッテリーの寿命を大幅に短縮します。クロノグラフ/ストップウォッチ機能の継続的なご使用はおすすめできません。バッテリーを節約するには、クロノグラフを停止しましょう。

経過時間とスプリットタイムの測定

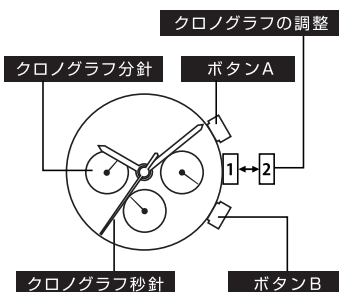


経過時間とスプリットタイムの測定

1. ボタンAを押すと測定をスタートする。
2. ボタンBを押すとタイムがストップする。
ストップウォッチは経過時間の測定を続けるが針は動かない。
3. ボタンBを再度押すとタイムを回復する。
針が急速に進んで最初からの経過時間を示し、測定を続ける。

※ストップウォッチの使用中でも、時計の時針、分針、秒針は、正確な時刻を表示します。

クロノグラフの調整について



クロノグラフの調整について

1. リュウズを2の位置まで引き出す。
2. ボタンAを押して秒針を0にリセットする。
3. ボタンBを押してクロノグラフの分針時針をリセットする。
4. 時計を現在時刻に再設定しリュウズを1の通常位置に戻す。